

令和 8 年度 博多区地域包括ケア推進会議 議事録

1. 日時

令和 8 年 7 月 7 日（火）18：00～19：30

2. 場所

博多区役所 5 階 集団指導室

3. 出席者

委員（15 名出席/4 名欠席）、地域包括支援センター（7 名）、事務局（5 名）

4. 会議次第

- | |
|--|
| I 開会、委員紹介 |
| II 会議概要の説明 |
| III 議題
○福岡市・博多区の高齢者の概況及び事業報告
1 福岡市の高齢化と地域包括ケアの推進
2 博多区高齢者の概況
3 博多区高齢者の相談状況
4 権利擁護業務について
5 認知症高齢者への支援業務
6 介護予防に関する取組み
7 その他の博多区の取組み
○意見交換
・ 博多区の取組みに関するご意見・ご提案等 |
| IV 閉会 |

5. 会議経過

- | |
|--|
| I 開会 |
| II 会議概要の説明 |
| III 議題
福岡市及び博多区の高齢者の状況と事業報告
【事務局より】
1 福岡市の高齢化と地域包括ケアの推進 <ul style="list-style-type: none">福岡市の人口は 2040 年頃をピークに減少へ転じる見込み。一方で高齢者数は増加を続け、高齢化率は 2050 年頃に 30%を超える見込み。高齢者単身世帯、とりわけ 75 歳以上の単身世帯の増加が予測される。医療・介護・生活支援・住まいを切れ目なく提供する体制づくりを推進。地域包括支援センター（いきいきセンター）が地域相談の中心的役割を担っている。
福岡市内に 57 か所、博多区内には 8 か所設置。 2 博多区高齢者の概況 <ul style="list-style-type: none">博多区の高齢化率は市内で最も低い。しかし、校区ごとの高齢化率には大きな差があり、地域特性に応じた支援が必要。85 歳以上で介護サービス利用率が大きく上昇。要支援 1・2 の段階での介護予防・フレイル予防の重要性が高い。 |

3 博多区高齢者の相談状況

- 令和7年度の相談件数は実約3,754件、延26,767件。
- 相談内容の半数以上が介護に関する相談だが、認知症、権利擁護、生活困窮など複合課題を抱えるケースも増加傾向。

4 権利擁護業務について

- 高齢者虐待通報件数は増加傾向。警察からの虐待通報も増加している。
- 身寄りなし認知症高齢者の増加を背景に、成年後見制度利用支援事業も増加傾向。

5 認知症高齢者への支援業務

- 認知症相談は増加傾向。
- 認知症初期集中支援チームによる個別支援を実施。
- 認知症サポーター養成講座、ユマニチュード講座を継続実施。

6 介護予防に関する取組み

- フレイル予防教室、生き生き講座、オーラルフレイル予防などの取組み
- よかトレ実践ステーションの創出・継続支援など通いの場の充実

7 その他の博多区の取組み

- 医療・介護・福祉・地域団体が連携し各種研修会や交流会を実施。

【委員より】

- 総論としては、博多区の地域包括ケアシステム構築の方向性は大変良いが、この後の意見交換を通して個別具体的な事例や各論的な部分をより深めて協議していきたい。
- 博多区内での日中就労者も多く、昼夜では居住者の人口構成が異なる特徴があり、昼夜では高齢者を取り巻く環境も変わる。災害対策を考える際、博多区では時間帯による違いを考慮する必要がある。

意見交換 テーマ1

「高齢者が地域で安心して暮らすための取組みと成果について」

【事務局より】

地域包括ケアシステムは、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療・介護・生活支援・介護予防、住まいなどのサービスを、専門職や地域、行政が連携して切れ目なく提供する仕組みである。博多区ではこれまで、地域活動の活性化や関係機関同士の連携強化に取り組み、多くのつながりが生まれ、高齢者が安心して暮らせる地域づくりが着実に進んできた。地域包括ケアシステムのさらなる充実を目指し、博多区における現状と課題を共有したうえで、今後の地域づくりや支援体制の方向性について意見交換を行う。

意見交換 テーマ2

「今後の地域課題と必要な取組みについて」

【事務局より】各区の特徴ある事例について紹介

福岡市ホームページ「区の地域包括ケアに関する取組み」より抜粋して紹介（以下アドレス参照）

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/fukushi/chiikihoken/health/00/04/4-040201.html>

（博多区）

- 事業所ネットワークと連携したインクルーシブ防災訓練
- 発展的な認知症サポーター養成講座の実施
- 事業所ネットワークと地域による体力測定会・健康イベントの開催

(東区)

- ・ イオンモール香椎浜と連携した健康イベント
- ・ なみきスクエアでの医療介護フェスタ

(中央区)

- ・ 認知症・MCI 予防啓発事業
- ・ 高齢男性のためのウェルビーイング事業

(南区)

- ・ 公民館での警察署による学習会・交流会
- ・ 高齢者の意思決定支援（ACP への取り組み）

(城南区)

- ・ デジタルゲームを活用したフレイル予防の取り組み
- ・ 認知症当事者と家族による「本人の“したい”をかなえる会」

(早良区)

- ・ 歯科医師会、大学、歯科衛生士会と連携したオーラルフレイル予防事業
- ・ 若い世代に介護の備えを伝えるプロジェクトの実施・ワーキングの開催

(西区)

- ・ 自治協議会と社会福祉協議会による高齢者が気軽に立ち寄れるカフェをオープン
- ・ ACP の周知と高齢者見守り支援の充実

グループワーク（要旨と発表内容）

【1 グループ】

主な成果

- ・ 地域包括ケアの連携は進んでいるが、認知症一時保護事業などの一部制度が十分に周知されていない。
- ・ 法律相談や虐待対応など、高齢者を支える専門機関との連携により、支援体制が整備されつつある。
- ・ ふれあいサロンをはじめとした地域活動が高齢者の交流や健康づくりに役立っている。
- ・ 高齢者に多い特殊詐欺防止や交通安全・交通ルールについて、広く啓発している。

課題

- ・ 支援が必要な方に、よりわかりやすく支援窓口を周知していく必要がある。
- ・ 民生委員を含む地域を支える担い手不足への対応と、早い時期からの介護予防も含めた、若い世代への啓発活動が求められる。
- ・ 将来の独居生活や高齢期を見据えた人生設計について早い段階から考える機会が必要。

提案

- ・ 支援制度や相談窓口の周知強化。
- ・ あらゆる世代に向けた ACP（人生会議）の普及啓発。
- ・ 高齢男性や外出機会の少ない方への支援強化。

【2 グループ】

主な成果

- ・ 救急搬送の適正利用や有事の際の対応力強化に取り組んでいる。

- ・ 地域活動や施設開放を通じて、高齢者を支える環境づくりが進められている。
- ・ 地域活動の中で見守りや災害等有事の際の支援体制整備が行われつつある。

課題

- ・ 高齢化に伴い救急要請も増加しており、緊急時に備えた情報共有や支援体制の充実が求められている。
- ・ 地域の中で高齢者と子どもを含めた多世代交流の場づくりが求められる。
- ・ 把握した対象者の個人情報の共有と保護の両立について、支援に必要な情報共有の仕組みや共有のあり方について整理が必要。
- ・ 認知症理解促進の取組みを、継続的に充実させる必要性がある。

提案

- ・ 高齢者を取り巻く救急体制の整備や備えへの取組み
- ・ 認知症理解促進に向けた取組みの継続

【3 グループ】

主な成果

- ・ 医療・介護関係者によるネットワークづくりが進み、多職種連携が強化されている。
- ・ 公民館や薬局を活用した介護予防や高齢者の通いの場づくりが行われている。
- ・ 高齢者だけでなく世帯全体を見据えた支援が進められている。

課題

- ・ 高齢男性や閉じこもりがちな方、孤立している方へのアプローチが必要である。
- ・ 移動支援や地域情報が必要な方に届いていない。

提案

- ・ 訪問看護等在宅サービスの機会を活用し、地域活動の情報提供を行う。
- ・ 公民館などの地域拠点や薬局を含む事業所等を活用した介護予防・健康づくりの取組みを充実させる。

共通課題（3 グループを通じて共通して挙げられた課題や重点的な取組み）

- ・ 認知症・ACPに関する普及啓発
- ・ 支援制度や相談窓口の周知強化
- ・ 緊急時・災害時に備えた仕組みづくり
- ・ 高齢男性や閉じこもりがちな方への参加促進
- ・ 若い世代を含めた地域活動の担い手育成や情報共有

総評【会長より】

- ・ 高齢化の進展や人口減少、人材不足、災害リスクの高まりなど、博多区を取り巻く課題は年々複雑化している。
- ・ 一つの機関や地域だけで課題を解決することは難しくなっており、多様な主体が連携した支援体制が必要である。
- ・ 今後の博多区においては、「集約」が重要なキーワードになる。人や場所だけを集約するのではなく、情報・人材・支援の仕組みをつなぎ、効率的かつ持続可能な形で活用していくことを目指したい。

- 本日の協議で挙げた認知症支援、権利擁護、介護予防、見守り、移動支援等の課題についても、関係者が連携しながら取り組むことが必要である。
- 今後も引き続き、関係機関・団体が一体となり、安心して暮らし続けられる博多区の実現に向けて取り組んでいきたい。

今後について

- 本会議で出された意見を整理し、以下の専門部会で具体的施策を検討する。
 - 在宅医療・介護部会
 - 権利擁護部会
 - 生活支援・介護予防部会
- 区単独での対応が困難な課題については、福岡市地域包括ケア推進会議へ報告する。

IV 閉会